

令和5年度 第1学年 社会科(地理的分野)年間指導計画 (年間 65 時間)

目 標	社会的事象を通して、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする能力を育てる。 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者に必要な技能を身に付けるようにする。
------------	---

評価の観点: ①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時数	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	8	世界の姿	・世界の地域構成を主体的に捉え、意欲的に追究させる。 ・世界の地域構成を地図・地球儀・諸資料などを活用して捉えさせる。 ・世界の地域構成を理解させる。	・進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度・挙手・発言) ・大陸や海洋の位置関係をはじめとする世界の地域構成を理解し、基礎的な知識や資料活用の技能を身に付けている。 (プリント・定期考査・ノート) ・統計資料を読み取り、自分の言葉で表現している。 (プリント・定期考査・ノート・問題集)
7 ◆	5	日本の姿	・日本の地域構成を地図・地球儀・諸資料などを活用して捉えさせる。 ・日本の地域構成を理解させる。	・日本の位置の示し方や、時差など、基礎的な知識や資料活用の技能を身に付けている。 (プリント・定期考査・ノート) ・領域のしくみや特色を理解し、日本の問題を主体的に考えている。 (プリント・定期考査・ノート・問題集)
7	8	人々の生活と環境 ☆	・世界各地の人々の生活の様子を、衣食住や宗教など、自然条件や社会条件と関連させて考察させる。 ・雨温図などのグラフや資料を適切に読み取り、地域の特色を捉えさせる。	・進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度・挙手・発言) ・景観写真や雨温図などの諸資料を読み取り、資料活用能力を身に付けている。 (プリント・定期考査・ノート) ・世界の気候の特色を理解し、その知識を身に付けている。 (定期考査)
◆ 10 11 ◆ 2 ◆	40	世界の諸地域 (ア) アジア (イ) ヨーロッパ (ウ) アフリカ (エ) 北アメリカ (オ) 南アメリカ (カ) オセアニア ☆	・左の(ア)～(カ)の各州の自然環境、産業、生活、歴史的背景などに関心をもたせる。 ・左の(A)～(E)の各主題に関して、諸資料を的確に読み取り、多面的、多角的に追及し、考察させる。	・進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度・挙手・発言) ・世界の諸地域について、左の(ア)～(カ)の各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる下記の地理的事象を中心に取り上げ、それぞれの州の地域的特色を考察している。 (A)人口問題 (B)EU 統合 (C)貧困 (D)農業 (E)熱帯林の伐採 (F)移民 (授業態度、挙手・発言、プリント、ノート、定期考査)
3	4	身近な地域の調査	・日本の様々な地域の特色を捉える適切な主題を設けて追及し、日本の地理的認識を深めるとともに、日本の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を身に付けさせる。	・進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度・挙手・発言) ・収集した情報を適切に分析し、分かりやすく説明している。 (ワークシート、発言)

令和5年度 第1学年 社会科(歴史的分野)年間指導計画 (年間 40時間)

目 標	社会的事象を通して、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする能力を育てる。 広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる社会の形成者に必要な技能を身に付けるようにする。
------------	---

評価の観点：①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体的に取り組む態度

月	時数	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
5	4	歴史のとらえ方 ・調べ方	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史のレポート作成の方法などを通して歴史の学び方を身に付けさせる。 ・時代区分の方法や、年代の見方・表し方について理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度・挙手・発言) ・我が国の歴史上の人物や出来事などについて調べたり考えたりし、その過程や結果を適切に表現している。(プリント、授業態度) ・時代区分、年代の分け方について理解し、その知識を身に付けている。(定期考査)
6 ◆ 9 ◆	15	原始・古代の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・国家の形成と貴族の政治の展開のあらましや文化などに関心をもたせる。 ・歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察させる。 ・様々な資料を収集し、適切に活用するとともに、追求した過程や結果を発表し、説明させる。 ・我が国の国家形成に深く関わる東アジアの歴史を理解させる。☆ 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習に取り組んでいる。(授業態度・発言) ・世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まり、大和朝廷による国内統一と東アジアとの関わり、律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治、古代文化等に関する様々な資料を適切に読み取り、それぞれの時代の特色をわかりやすく説明している。また、原始・古代の日本と世界の歴史について理解し、その知識を身に付けている。 (プリント・ノート・定期考査・問題集)
1 ◆ 12	15	中世の日本と世界 ☆	<ul style="list-style-type: none"> ・武家政権の成立とその後の政治、社会、文化への関心を高めさせる。 ・社会的な変動、諸産業の発達を取り上げ、多面的・多角的に考察させる。 ・様々な資料を収集し、適切に活用するとともに、追求し考察した結果をまとめ、説明させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度・挙手・発言) ・武家政権の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動や武家政治の特色等に関する様々な資料を適切に読み取り、それぞれの時代の特色をわかりやすく説明している。また、中世の日本と世界の歴史について理解し、その知識を身に付けている。 (プリント・ノート・定期考査・問題集)
1 ◆	7	近世の日本と世界 ☆	<ul style="list-style-type: none"> ・14～16 世紀に起こった歴史的事象の特色と、ヨーロッパ人の来航による日本への影響などについて、多角的に考察させる。 ・様々な資料を収集し、適切に活用するとともに、追求し考察した結果をまとめ、説明させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習に取り組んでいる。 (授業態度・挙手・発言) ・ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的、織田・豊臣による全国統一事業等に関する様々な資料を適切に読み取り、それぞれの時代の特色をわかりやすく説明している。また、近世の日本と世界の歴史について理解し、その知識を身に付けている。 (プリント・ノート・定期考査・問題集)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	社会的事象についての知識 資料活用の技能	社会的な思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	世界や日本の諸地域・歴史、現代の社会的事象についての知識を身に付けているとともに、様々な情報を効果的に調べ、まとめている。	地理や歴史、現代の社会生活に関わる事象と関連付けて、地域の特色や年代、現代社会の特色を多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりしている。	地理や歴史、現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現や現代社会に見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評 価 の 方 法	・プリント ・定期テスト ・確認テスト	・プリント ・作品 ・定期テスト ・確認テスト	・授業観察 ・忘れ物 ・グループ活動に対する姿勢 ・確認テスト

学習のアドバイス

(1)授業の取り組む姿勢:	話をただ聞くだけでなく資料や地図などをしっかりと確認しながら、積極的に話を聞くことが大切です。 自分なりの疑問が浮かんでくればその項目は忘れずに定着できると思います。 疑問はどんどん質問して、自ら授業に取り組みましょう。
(2)提出物はきちんと出す:	プリントやワークは提出期日を守る習慣をつけましょう。
(3)話をメモする:	授業では先生は話したこともメモを取っておくと定期考査前に役立つこともあります。先生の話をもっと聞き流すだけでなく、記録に残しましょう。
(4)忘れ物をしない:	忘れ物をしてしまうと、その日の授業が遅れてしまう場合があります。忘れ物は絶対にしないようにしっかりと準備しましょう。